

Agency

富良野市立富良野小学校
令和7年度 学校通信

R8.1.30 NO.10

子ども ゴールに向かって自分らしさを磨こう
~心を通わせながら~
富小っ子 どまんなか学校
教職員 エージェンシーで「笑顔」と「潤い」を
~今こそ「すべての子どもたちのために」~

ニューメディア&オールドメディアの時代 判断する力を育てる

校長 田畠 幹夫

真冬に衆議院選挙が行われることになりました。私たちは今、新聞やテレビだけでなく、インターネットやSNSなど、様々なメディアから情報を得られる時代に生きてています。同じ情報でも、どのメディアを通して知るかによって、受け止め方が変わることがあります、選挙に関する情報は、その違いを強く感じます。

新聞やテレビなどのオールドメディアでは、選挙に関わる全体の説明や流れなどを丁寧に伝える報道がよく見られます。新聞社や放送局によって視点や「味付け」も異なっています。一方、インターネットやSNSでは、発言の一部が切り取られたり、強い言葉や印象的な場面が強調されたりすることもしばしばです。発信元は個人が中心で実に多様。一度自分の気に入ると関連情報が次々と入ってきます。善し悪しは別としてオールドメディア&ニューメディアには、それぞれ異なる特性があり、私たちはどちらに多く触れるかによって、自然と判断材料が大きく変わってきます。高齢者は、どちらかというと新聞や地上波テレビから情報を得て、若者世代は、XやYouTube、TikTokなどのSNSを通して情報に触れていくとよく言われます。情報源が違えば、当然見える景色も全く違ってきます。

話題は変わりますが、学校の調べ学習でも、子どもたちはネットを使って情報をすぐに見つけ出すことができます。その一方で、文章やデータをそのままコピーして貼り付ける、いわゆる「コピペ」で済ませてしまう姿も見られます。深く考えないまま情報を使っていないでしょうか。私たちは、そこに強い課題意識をもっています。

今、学校で大切にしたいのは、素早く情報を集め、作品を完成させることではありません。「何を根拠にしたのか」「なぜそう考えたのか」を、自分の言葉でしっかり説明できることです。メディアリテラシーとは、「なぜそのように伝えられているのか背景を考える」「他の見方もあるかもしれない立ち止まる」こうした姿勢そのものです。一部の情報に振り回されることなく、根拠になり得る根拠をもとに自分で判断する力です。

選挙は、私たちの民主主義を支える大切な仕組みです。近い将来、子どもたちも大切な有権者として判断する時がやってきます。一部の意見だけをそのまま受け入れるのではなく、複数の情報を比べ、自分で考え、選ぶ力が欠かせません。ニューメディアにもオールドメディアにも、それぞれの良さがあるので、特性をよく理解し、上手に活用することが大切でしょう。

学校は、みんなで学ぶ場です。話し合いや対話を通して、多様な考え方や違いに触れる学びを大切にしています。自分の考えを言葉にし、相手の考えを聞き、折り合いをつけていく経験は、これから的情報社会を生きる上で欠かせない大切な力です。

ご家庭でも、何か迷うようなことがあったときには、「根拠は何だろう?」「どうしてこの考え方へ至ったのだろう?」と、親子で話題にしてみてください。一部の情報に流されるのではなく、自分の頭で考え、判断できる子どもたちを育てていきたいものです。

今回は選挙の前にして思うことを書かせていただきました。



学校評価より

資質・能力に関わる育ちを客観的に検証するため、後期学校評価のご協力ありがとうございました。学校改善プラン(知育・情意・健康)について、保護者・児童・教職員評価をもとに、成果と課題を明らかにした上で、今後の改善策等について、分掌ごとに話し合いました。児童の実態に関わることを整理いたしましたので、お知らせいたします。

- 学芸会や歌声集会などの行事を通して、互いの頑張りを認め合い、感動を共有することができました。活動の中で「自分は役に立っている」「自分にもできる」という自己有用感や自己肯定感を実感し、新たな可能性に気づくことで、自信につなげることができた子どもが多く見られました。
- ゴールを意識して学習に取り組み、自分なりに考えながら学ぶ姿が見られます。これからは、学習の見通しをより明確にし、自分の学び方を振り返って調整する力をさらに伸ばしていくことが期待されます。また、家庭学習でも工夫を重ねるなど、自分の良さを生かしながら学ぶ力をより一層育てていきたいです。
- 爽やかな挨拶を心がけ、友だちと関わろうとする姿が多く見られます。今後は、適切な言葉遣いを意識したやり取りを通して、よりよいコミュニケーション力を身につけ、互いを尊重し合える雰囲気をさらに育てていくことが大切です。
- 自分専用の機器を持ち、電子メディアを活用している児童が多く見られます。使い方を工夫しようとするとする姿も見られる一方で、電子メディアの特性を理解し、依存にならないよう意識することが大切です。今後は、読書や運動、家の手伝い、趣味を増やすことなど受け身ではなく主体的に取り組める活動へと時間の使い方をシフトし、目的をもって生活する力をさらに伸ばしていきたいところです。

※学校評価の詳細は後日、マチコミでお知らせいたします。

冬休み学習会

7日に冬休み学習会を実施しました。高校生18名、CS委員2名、児童18名が参加しました。児童は自分で決めた課題を持参し、高校生や、CS委員からアドバイスをもらいながら、学習を進めました。また、休み時間にはCS委員の山本さんに読み聞かせをしていただきました。短い時間でしたが、子ども達にとってもサポーターの方にとっても、有意義な時間となりました。

【高校生・CS委員の感想より一部紹介】

- 参加した子どもの良かった点や感想
- 子どもたちが自主的に学習に取り組んでいたので良かった。
- 子どもたちは集中して学習に取り組んでいて最後まで頑張っていました。
- 子ども一人ひとりに合わせた関わりの大切さを感じました。教える側としても学びが多く貴重で楽しい時間でした。
- 教諭を目指しているけど子供と関わることが少ないので、良い機会になりました。
- 子供達に勉強を教えるという事の難しさを知りました。あまり得られない体験をさせていただきありがとうございました。
- 今回はこんなにも多くの高校生が来てくれてとても嬉しく、この学習サポートによって将来への職業選択につなげて行って欲しいと思いました。また高校生に教わる事を毎回楽しみにしている子どもたちも多いようです。人とひととのつながりを大切にするためにも、この学習サポートの取組の継続を願っています。
- 高校生と子ども達のやり取りが微笑ましかったです。



冬休み作品展

子どもたちは冬休み中に取り組んだ作品や自由研究を持ってきました。夏休みと同じように、普段の学習で学んだことを生かした調べ学習や工作が多く、一人一人が工夫しながら丁寧に仕上げた様子が伝わってきました。

また、友だちの作品を見合うことで、「こんな考え方もあるんだ」「次はこれをやってみたいな」と、新しい発想や意欲も広がっていました。

作品は26日まで2階ホールに展示され、子どもたちは力作を鑑賞することができました。一生懸命取り組んだ思いが詰まった、素敵なお作品ばかりでした。



2月行事予定

3日(火)	富小っ子朝会
4日(水)	中学校説明会(6年)
5日(木)	スキー学習(5年)
6日(金)	スキー学習(4年)
9日(月)	全校一斉下校
10日(火)	口座再振替日
	交通安全街頭指導
11日(水)	スキー学習(3年)
12日(木)	校内版画展~24日
13日(金)	建国記念日(祝日)
16日(月)	一日入学(入学説明会)
17日(火)	スキー学習(2年)
18日(水)	環境教育(5年)
19日(木)	児童会役員選挙
23日(月)	参観日(2・6年)
27日(金)	参観日(4・5年)
	参観日(1・3年)
	天皇誕生日(祝日)
	口座振替日・6年生を送る会